

千葉県がんセンターと河北医科大学第四医院（中国）との 研究・教育に関する協定の締結について

千葉県がんセンターと河北医科大学第四医院は、がんに係る医療及び看護技術並びに先端医療等の各分野において、研究交流を促進し、相互の教育・研究活動の一層の充実を図り、その成果をもって、学術及びがん医療の発展に資することを目的として、平成22年5月26日、千葉県がんセンター会議室において「研究・教育に関する協定」を締結いたしました。



協定書を手握りする 王 士杰 河北医科大学第四
医院長（左）と中川原 章 千葉県がんセンター長（右）

千葉県がんセンター（千葉大学大学院医学薬学府・連携大学院講座「分子腫瘍生物学」）は、これまで、多くの河北医科大学からの留学生や研修生を迎えており、がん研究の各分野において、多くの研究者を育ててきました。

また、中国河北省は、世界的にも有数な食道がんの多発地域であり、同省のがんセンター中央病院である河北医科大学第四医院は、食道がんをはじめ多くのがんの診断、治療において、優れた技術と経験を有しております。

当センターの中川原 章（センター長）や田川 雅敏（研究局がん治療開発グループ部長）は、数次、河北医科大学第四病院に赴いて、がん医療発展のために必要な情報交換を行ってきました。

千葉県がんセンターと河北医科大学第四医院は、これまでの交流などの実績を互いに評価し、「研究・教育に関する協定」の締結に至ったところですが、今後は、この協定に基づき、相互の更なる協力の下、学術及びがん医療の発展のため、共同研究の実施や医療技術者の交流事業の促進を図っていくこととしております。



調印式を終え、記念撮影。

前列左から 単 保恩副院長、王 士杰院長、

中川原 章センター長、木村 秀樹副センター長

後列左から 于 凡大学院生、田川 雅敏部長、温 登瑰教授、王 貴英研究部長、

李 元元がんセンター研究員、楊 珊大学院生